



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:v3setoga@edu.city.vokohama.jp

学校だより 11月号
令和3年10月29日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索

教室の力

校長 松永 淳子

10月に入っても子どもたちは半袖で登校するなど、暑い日が続いておりましたが、11月が近づくにつれ、やっと本格的な秋を感じる頃となりました。コロナ禍も少し収まりつつあるこの頃です。教室からは子どもたちが奏でるリコーダーや鍵盤ハーモニカの音色が聞えてきます。運動場ではボールを使ったゲームに夢中になっている子どもたちの姿を見ることができます。本当にどのくらいぶりでしょうか。久しく聞いていない音、見ていない光景に心が躍ります。このまま、子どもたちの活動が今後も安定して予定通りの活動ができることを願うばかりです。

10月は2年生を皮切りに校外での学習もスタートしました。6年生は箱根・小田原方面に出かけました。校外の自然や文化に触れることは子どもたちの学びに大きく繋がります。そして、対面で学習できる環境も学校には欠かせません。子どもたちの息づかい、笑顔、頑張った時や、楽しかった時などに見せる表情を間近に感じることができることはたいへんうれしいことです。

さて、後期始業式に、子どもたちに次の詩を紹介しました。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、その一部を記します。

「教室はまちがうところだ」 蒔田 普治 作

教室はまちがうところだ
みんなどしどし手をあげて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない
まちがったものをわらっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出しあい 言ひあうなかでだ
ほんとのものを 見つけていくのだ
そうしてみんなで伸びていくのだ



これは最初の部分だけですが、この詩の最後は 「そんな教室つくろうやあ」で締めくくられています。

緊急事態宣言が解除され、学校に全校児童の元気な声が様々な教室から聞こえてきます。この詩の通りみんなで「ああじゃないか こうじゃないか」と知恵を出し合い学び合える姿の素晴らしさをこのコロナ禍を経験することで再認識しています。後期の学習も瀬戸ヶ谷小学校の一人ひとりが実り多きものとなるよう努めてまいります。今月は表現週間も予定されております。保護者や地域の皆様、前期と変わらぬご理解ご協力賜りますようお願いいたします。